

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

28

1 施策の概要

1-1 施策の名称	交通対策			基本施策コード	3 1 2
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	評価票作成者 都市計画課長 前田 纈
1-3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			
	項	道路・交通			
1-4 施策の目的	鉄道駅や駅周辺をユニバーサルデザインを推進し、全ての市民が移動しやすくする				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する
- B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度～平成22年度)			全期間(平成23年度～平成27年度)			指標の定義
		目標値(%)	実績値(%)	達成率(%)	目標値(%)	実績値(%)	達成率(%)	
	鉄道の利便性	70.0	74.4	106.3	75.0			鉄道を利用する市民の利便性を高めるため、交通結節点として充実を図る指標
	路線バスの利便性に対する満足度	50.0	57.9	115.8	50.0			路線バスを利用する市民の利便性を高める指標
	ひまわりバスの利便性に対する満足度	60.0	48.2	80.3	75.0			利用者から見た運行状況の充実状況を表す指標

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識			既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方		施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価	
	平成18年度	駐車場経営等、公共と民間の共存の推進		全ての市民が、安心して利用できる交通結節点の整備を進める		駅前広場における環境対策・交通渋滞緩和対策のための市営駐車場の検討をした	
平成19年度	"		"		駅前広場における障害者用駐車場の利用状況を把握に努めた。		
平成20年度	公共と民間の共存の推進		市民の皆さん利用できる駅周辺での駐車場などの整備を進める。		愛知県が中心となり年4回の駐車場に関する勉強会等を実施し、駅前広場における駐車場の利用状況を適格に把握できた。		
平成21年度	公共と民間の共存の推進		市民の皆さん利用できる駅周辺での駐車場などの整備を進める。		豊明駅南に月ぎめ駐車場の設置を研究検討し、H22年度事業として着手する予定である。		
平成22年度	平成22年8月に豊明駅南月ぎめ駐車場を供用開始したことにより、パークアンドライドの充実を図ることができた。今後は、更に利用者の増加を図る必要がある。						
平成23年度	パークアンドライドとして豊明駅南月ぎめ駐車場を整備し、広報・新聞広告の掲載により利用者が増大した。						
平成24年度							
平成25年度							
平成26年度							
平成27年度							

